



Broadmedia

The Second quarter business report

株主通信

2023年度／第28期 第2四半期決算のご報告

2023.4.1 → 2023.9.30

ブロードメディア株式会社 (証券コード:4347)



代表取締役社長 橋本 太郎

トップインタビュー

“独自の複合的な教育事業”を積極的に展開してまいります

Q1

2023年度上期の業績と通期業績予想についてお聞かせください

2023年度上期の業績は、前年同期に比べ増収増益で順調に推移しました。売上高は8%、営業利益は19%、経常利益は17%の増加となりました。また、純利益は前年同期に「スタジオ・コンテンツ」において発生した、外国映画の配給事業からの撤退に係る損失がないことから、37%増と大幅な増益となりました。

(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

| | 2022年度 第2四半期 | 2023年度 第2四半期 | 増減額 | 増減率 | 通期業績予想 (5月9日発表) | 進捗率 |
|------|-----------------|-----------------|-------|------|--------------------|-----|
| 売上高 | 6,323 | 6,861 | ▲ 537 | +8% | 14,300 | 48% |
| 営業利益 | 465 | 552 | ▲ 86 | +19% | 1,200 | 46% |
| 経常利益 | 503 | 589 | ▲ 86 | +17% | 1,200 | 49% |
| 純利益 | 326 | 447 | ▲ 121 | +37% | 1,000 | 45% |

通期業績予想に対しては50%を若干下回る進捗率ですが、例年上期よりも下期の業績が良い傾向にあるため、概ね想定範囲で順調に推移することを見込んでいます。したがって、通期業績予想は据え置きとさせていただきます。

なお、2023年度の配当につきましては、期初に発表したとおり、中間配当は行わず、前年度から3円を増配した1株当たり33円の期末配当を予定しています。

[業績について詳細はP3に掲載しております]

Q2

セグメント毎の増減要因を教えてください

全体では引き続き「教育」と「技術」が増収増益となり、業績をけん引しています。

特に「教育」は8期連続で生徒数が過去最高を更新し、大きく伸びています。一方で急速な成長に伴う教員の確保や生徒の定員の増加については、しっかりと対応しなければならない継続的な課題として取り組んでいます。

「メディアコンテンツ」は、デジタルメディアサービスの広告収入の不調により減収となった一方、コスト抑制効果により赤字幅が縮小しています。業績の改善と成長をめざして組織の見直しと業態転換を進めています。

「スタジオ・プロダクション」は減収減益となりました。その主な要因は、海外ドラマシリーズ等の売上計上が、シリーズ全話納品後の一括計上となった第1四半期からの影響によるものです。この影響は当年度末まで続きますが、来年度は平準化されて通常に戻ると予測しています。そのほか米国ハリウッドで生じた「全米脚本家組合」や「全米映画俳優組合」のストライキによる下期以降の業績への影響を注視しています。

「放送」は減収減益となりました。新たに立ち上げた「釣りビジョン倶楽部(VOD+α)」の売上は増加しているものの、放

送視聴料収入の減少やスポンサー収入の減少を補いきれない状況が続いています。「放送オンリーからオンデマンド(VOD)との2本柱への事業構造の転換」には一定の時間がかかりますが、釣りビジョン倶楽部(VOD+α)を事業の第2の柱として育成することで業績改善をめざしてまいります。

「技術」は、主力のアカマイ(CDN)サービスが既存顧客へのサービス拡大等により業績をけん引し、安定的な成長を続けています。また、連結業績では売上が相殺されてしまうため目立ちませんが、当社グループの各事業のDXに同セグメントが大きく貢献しています。

「その他」は赤字幅が拡大しました。プロeスポーツ推進事業は未だ立ち上げ段階で赤字ではありますが、大会の出演料や賞金が増加したことなどから増収となりました。期初より連結対象になった(株)ポケットは、上期に新規タイトルの投入がなかったため赤字を計上しましたが、この11月にリリースしたNintendo Switch™向けフィットネスゲーム『うちトレ』で、売上と利益を一気に挽回してくれると期待しています。 [セグメント別の業績について詳細はP4に掲載しております]

Q3

中長期的なインキュベーション(事業育成)についてお聞かせください

ブロードメディア・グループは“持続可能で、かつ倫理的なビジネスで成長する”ことを重要なテーマとして考えており、中長期的な取り組みとしてeスポーツ事業と日本語教育事業のインキュベーションを加速させています。

この上期も「教育」においてルネサンス高校グループがeスポーツキャンパスを各地に展開しました。4月に新設した池袋キャンパスに続き、名古屋eスポーツキャンパスを拡張移転し、なんばeスポーツキャンパスは受講スペースを2倍に拡張しました。また、中学生を対象としたeスポーツ&プログラミング教室「ルネ中等部」も、中国・四国地方を対象に「岡山校」を新設しました。

日本最大の高校eスポーツの祭典である「STAGE:0 2023」では、今年もルネサンス高校グループのeスポーツコースから出場した生徒が、複数のタイトルで優勝するなど大活躍しています。eスポーツは当初考えていた以上に教育効果が高く、これからも積極的に取り組んでまいります。



名古屋eスポーツキャンパス
(7月拡張)



なんばeスポーツキャンパス
(10月拡張)



ルネ中等部 岡山校
(9月開設)

日本語教育に関しては、4月からルネサンス日本語学院が「日本語教師養成講座(eラーニング)」をスタートさせました。本講座の開設により、今後国家資格になることで大きな需要が見込まれる日本語教師の育成事業に本格的に乗り出しました。

Q4

株主の皆様へのメッセージをお願いします

第2四半期までの業績は順調に推移しており、下期も「教育」や「技術」を中心に増収増益をめざしてまいります。また、期末配当は期首の予定どおりに3円増配して、1株当たり33円の配当を行う予定です。引き続き、成長のために必要な投資とのバランスを考慮しつつ株主還元を実施してまいります。

これからの当社の成長のために必要な投資は、これまでのインキュベーションの範囲にとどまらず、「教育」、あるいは「教育」と「技術」の両方にまたがる領域を中心に行っていく予定です。そうした取り組みも加えながら、引き続き通信制高校、eスポーツ教育、日本語教育等による“独自の複合的な教育事業”を積極的に展開してまいります。また、セグメント間の連携の強化や、既存事業の高付加価値化、事業ポートフォリオの見直しも進めており、そのために必要な投資も行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

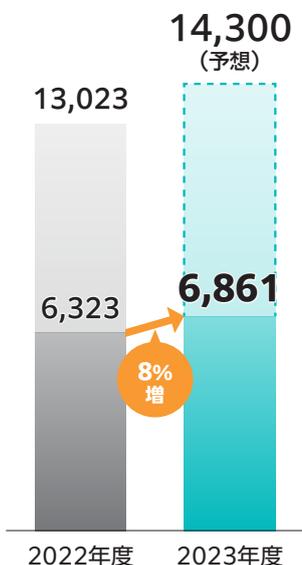
2023年度 第2四半期 決算ハイライト (連結)

決算のポイント 1. 前年同期に比べて増収増益、「教育」と「技術」が全体をけん引

2. 通期業績予想に対して順調に推移、期初の予想を据え置く

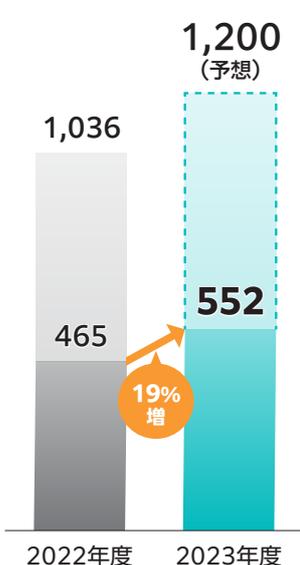
売上高

(百万円)
■ 第2四半期累計期間 ■ 通期



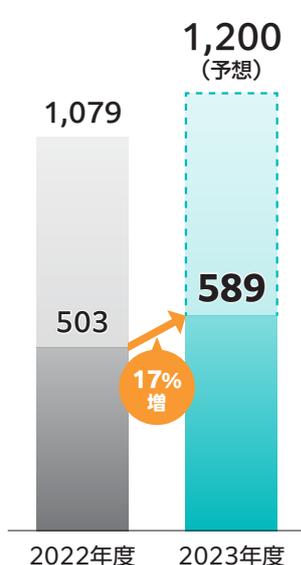
営業利益

(百万円)
■ 第2四半期累計期間 ■ 通期



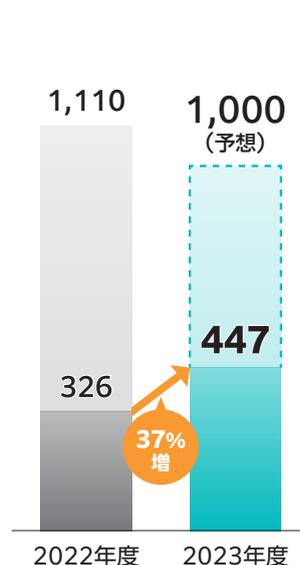
経常利益

(百万円)
■ 第2四半期累計期間 ■ 通期



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)
■ 第2四半期累計期間 ■ 通期



連結貸借対照表

(百万円)

| 2022年度末 | | 2023年度第2四半期末 | |
|---------|-------|--------------|-------|
| 資産合計 | 9,948 | 資産合計 | 9,892 |
| 負債純資産合計 | 9,948 | 負債純資産合計 | 9,892 |
| 流動資産 | 7,800 | 流動資産 | 7,677 |
| 流動負債 | 4,258 | 流動負債 | 4,007 |
| 固定資産 | 2,148 | 固定資産 | 2,214 |
| 固定負債 | 239 | 固定負債 | 223 |
| 純資産 | 5,450 | 純資産 | 5,661 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

| | | |
|--------------|------|-------|
| 2022年度末 | 期首残高 | 5,866 |
| | 営業CF | △65 |
| | 投資CF | △112 |
| | 財務CF | △343 |
| | 換算差額 | 28 |
| 2023年度第2四半期末 | 期末残高 | 5,373 |

セグメント別の業績

教育

売上高 **2,177**百万円
(前年同期比30.6%増)

営業利益 **698**百万円
(前年同期は498百万円)



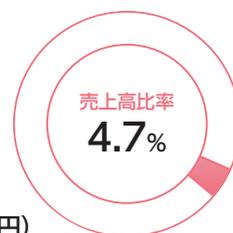
事業・サービス内容

- ▶ 通信制高校 (ルネサンス高校グループ)
- ▶ 日本語教育 (ルネサンス日本語学院)

メディアコンテンツ

売上高 **318**百万円
(前年同期比18.2%減)

営業利益 **△88**百万円
(前年同期は△136百万円)



事業・サービス内容

- ▶ デジタルメディアサービス
- ▶ コンテンツ販売事業

スタジオ・プロダクション

売上高 **899**百万円
(前年同期比3.8%減)

営業利益 **51**百万円
(前年同期は75百万円)



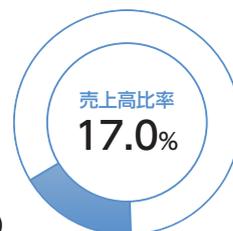
事業・サービス内容

- ▶ 制作事業

放送

売上高 **1,166**百万円
(前年同期比6.6%減)

営業利益 **22**百万円
(前年同期は115百万円)



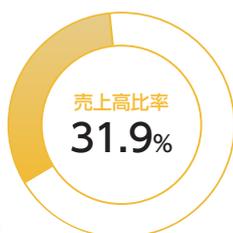
事業・サービス内容

- ▶ 釣り専門チャンネル「釣りビジョン」
- ▶ 釣りビジョン倶楽部 (VOD)

技術

売上高 **2,188**百万円
(前年同期比9.1%増)

営業利益 **242**百万円
(前年同期は226百万円)



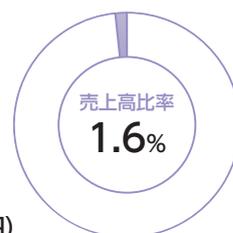
事業・サービス内容

- ▶ アカマイ (CDN) サービス
- ▶ ホスピタリティ・ネットワーク
- ▶ クラウドソリューション
- ▶ システム開発
- ▶ デジタルシネマサービス
- ▶ その他ソリューションサービス

その他

売上高 **110**百万円
(前年同期比42.5%増)

営業利益 **△31**百万円
(前年同期は△17百万円)



事業・サービス内容

- ▶ プロスポーツ推進事業
- ▶ ゲームパブリッシング事業
- ▶ ネットワーク営業

トピックス

教育



ルネサンス高校グループが女性アイドルグループSKE48等の
芸能マネージメントを行う株式会社ゼストと提携

[詳細はこちら](#)

2024年4月に開校する「ゼスト エンタテインメント高等学院」で、学業と芸能活動を両立したい生徒へ学習支援を開始します。高校在学中のデビューをめざす生徒をサポートしてまいります。



教育



ルネサンス日本語学院のイメージキャラクターに
「マーフィー波奈」さんが就任

[詳細はこちら](#)

若い世代に絶大な人気を誇るバイリンガルインフルエンサーである「マーフィー波奈」さんに就任していただきました。高年齢化が窺える日本語教師という職業の現状は改善が必要です。2024年4月から国家資格になるのを機に、Z世代からの日本語教師養成を進めるべく、マーフィー波奈さんと共に活動してまいります。



その他



筋トレ×有酸素運動で効率良く脂肪を燃焼！ Nintendo Switch™向け
フィットネスゲーム『うちトレ』11月30日発売

[詳細はこちら](#)

『うちトレ』は、スクワットやクランチ（腹筋）など高強度な筋トレ「HIIT」と、エアロビクスやボクササイズ、ジャズダンスやサンバなどの有酸素運動を組み合わせ、短時間で効率的な運動ができる本格的なフィットネスゲームです。ぜひお試しください。



放送



釣りビジョン公式オンラインショップがオープン

[公式オンラインショップはこちら](#)

ここでしか購入できない釣りビジョンオリジナル商品を多数取り揃えた通販サイトをオープンしました。番組のコラボグッズも販売しており、新しく商品化を希望する番組のリクエストも受付中です。皆様のご利用をお待ちしています。

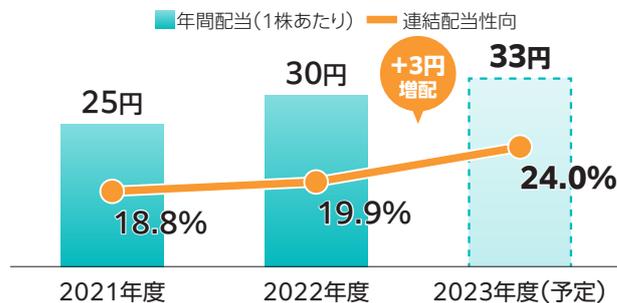
釣りビジョン
公式オンラインショップ

株主還元について

1株当たり配当金 **33円** (予定)

🎁 配当金

2021年度に復配をしてから2期連続の増配として、2023年度は1株当たり33円(+3円増配)の期末配当を予定しています。連結配当性向20%を目安としつつ、成長のために必要な投資とのバランスを考慮しながら株主還元を実施してまいります。



📄 株主優待

ポイント申請期限

2023年12月28日12時まで

対象株主様

2023年3月31日時点で
100株(1単元)以上保有している株主様

ポイント申請に必要なもの

株主番号・クーポンコード



株主番号・クーポンコードは
2023年7月上旬にお届けした
「株主優待のご案内」を
ご確認ください!

[ポイント申請はこちら](#)

当社は株主優待として、動画配信サービス「クランクイン!ビデオ」および電子コミックサービス「クランクイン!コミック」の双方でご利用可能な株主優待ポイントを贈呈しています。詳しくはコーポレートサイトをご参照ください。

[株主優待制度についてはこちら](#)

クランクイン!ビデオ クランクイン!コミック



[クランクイン!ビデオ](#)



[クランクイン!コミック](#)

株主メモ

株主名簿管理人
および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵送物送付先・電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

[株式のお手続きはこちら](#)